

アフリカ開発会議（TICAD 8）に向けて ジェンダーに基づく暴力(GBV)の撤廃 ～アフリカと日本の経験から～



参加費 無料
オンライン
開催

2022年2月24日(木) 14:00~17:00

主催：独立行政法人 国際協力機構（JICA）

要事前申し込み
こちらから



<https://forms.office.com/r/RVfp0mSdA0>

参加登録〆切：2月22日(火) 16:00

お問い合わせ

イベント全般について：
JICA ガバナンス・平和構築部ジェンダー平等・貧困削減推進室
gpgge@jica.go.jp

参加申込について：Kadaishien_chosei@jica.go.jp



Towards a resilient, inclusive, and prosperous Africa

プログラム

- (1) オープニング（ケニア Destiny Rescue Center の少女たちからのメッセージ）
- (2) 開会のあいさつ
- (3) アニメーションビデオの上映 「GBVの撤廃 ～誰も取り残さない社会の実現に向けて～」
- (4) 基調講演 「GBVとは何なのか ～日本の経験から～（仮）」
- (5) パネル討論 「GBVの撤廃 ～私たちは何をしなければならないのか～」

講演

近藤 恵子 さん NPO法人「全国女性シェルターネット」理事

1993年にNPO法人「女のスペース・おん」を開設し、北海道初の民間シェルターの運営に着手。1998年「全国女性シェルターネット」の設立に関り、現在は理事を務める。2001年のDV防止法の制定や改正作業に貢献するとともに、国内におけるDV・性暴力被害者支援システムの拡充や、全国レベルでの暴力防止教育・啓発に取り組む。「シェルター 女が暴力から逃れるために」（1998年青木書店）「DV防止とこれからの当事者支援」（2006年ミネルヴァ書房）などの著書・共著多数。

パネリスト

松本 和子さん NPO法人女性ネットSaya-Saya 代表理事

社会福祉士・精神保健福祉士・母子生活支援施設相談員。児童館相談員、クリニックソーシャル・ワーカーを経て、2000年に特定非営利活動法人「女性ネットSaya-Saya」を設立。現在、同団体の代表理事を務める。DVや性暴力サバイバーの危機介入、法的支援、就労や自立支援に携わるとともに、全国で暴力防止教育や支援員の育成に向けた活動を展開している。

山口 のり子さん アウェア代表

シンガポールでDVやセクシャル・ハラスメントのサバイバー支援に従事。帰国後、2002年にアウェアを設立し、国内でDV加害者向けの教育プログラムを始める。2003年に「デートDV」という言葉を日本で初めて用いた書籍「デートDV防止プログラム実施者向けワークブック―相手を尊重する関係をつくるために」を出版。現在、若者向け防止教育にも積極的に取り組んでいる。

新井 さつきさん UNFPA ケニア事務所 プログラム・アナリスト

2011年 英国マンチェスター大学国際開発学修士。国連食糧農業機関、国際農業基金ローマ本部でのインターンシップの後、在パキスタン日本大使館での草の根・人間の安全保障無償資金協力委職員、NPO法人日本紛争予防センター、UN Womenミャンマー事務所を経て、2020年よりジェンダー専門官として国連人口基金(UNFPA)ケニア事務所勤務。

池内 千草 さん JICA専門家（南スーダン）

東北大学大学院修士課程、タイ王国チュラロンコン大学大学院修士課程タイ研究講座を修了後、ワールド・ビジョンにて、「メコン地域人身取引対策事業 被害者保護分野」地域プロジェクトマネージャーとして6か国における事業運営管理に従事。2021年9月より、南スーダンにてJICAの「ジェンダーに基づく暴力サバイバーの自立と社会復帰促進アドバイザー」業務に従事している。

動画出演

Ms. Anne W. Ireri

Federation of Women
Lawyers Kenya,
Executive Director

ケニアの弁護士。GBVサバイバーの司法アクセス向上と、サバイバーへの心理カウンセリング提供に長年にわたり取り組む。

Ms. Editar Ochieng

Feminist for Peace
Rights and Justice
Centre, Founder

ケニアの女性活動家。ケニア最大のスラムであるキベラにて、GBVサバイバーの保護、女性のエンパワーメント事業に取り組む。

モデレーター

久保田 真紀子

JICA 国際協力専門員
（ジェンダーと開発）

映像作成協力：Destiny Rescue Center

2008年に Ms. Florence Muange が、ケニアの首都ナイロビに設立したGBVサバイバーを保護するためのシェルター。入居者の大半は女性性器切除（FGM）や若年妊娠のサバイバーとその子どもたち。衣食住を提供するとともに、心身の回復に向けたカウンセリングや医療サービスの他、女性たちの教育の継続や自立と社会復帰を支援している。

